

さいたま市長メッセージ（令和3年3月2日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

本市では、2月28日までの1週間で2,254件の検査を実施し、96名の新規陽性者が確認されました。また、市内の全療養者は28日時点で291名となりました。いずれも、先週より減少しており、市民や事業者の皆様の努力の成果は確実に数字に表れています。

しかしながら、療養者数は、感染急増段階とされるステージ3の指標を超えており、埼玉県全体の病床使用率も、47.1%で、ステージ4の指標50%をわずかに下回った程度です。

これまでの皆様の努力を無駄にしないためにも、リバウンドへの警戒を続けることが重要です。市民の皆様には、引き続き、基本的感染症対策や不要不急の外出の自粛にご協力をお願いします。

さて、本市では2月27日に、市内4医師会のご協力のもと、高等看護学院でワクチンの集団接種の運営訓練を行いました。スムーズな接種が行えるように、訓練で見た課題にしっかりと対処してまいります。

また、3月1日にワクチンの一般的な問い合わせに対応するコロナワクチンコールセンターを設置しました。市民の皆様へのワクチン接種に向けて、着実に準備を進めてまいります。

間もなく、本市で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されてから、1年が経ちます。これまで、市民の皆様に変なご協力をいただきながら、対策を進めてまいりました。今後も、強い危機感を持って、感染防止対策にと

り組んでまいります。

以前の日常へ戻るまでには、まだ時間がかかりますが、それぞれの立場で
感染予防に取り組み、ともに、この難局を乗り越えていきましょう。